

トモエソウ

Hypericum ascyron L.

オトギリソウ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 該当なし

選定理由

石川県では個体数が少なく、貴重である。(現況:RO)

形態

茎は直立し、4稜があり、無毛で分枝する。葉は十字に対生し、基部はなかば茎を抱き、葉柄がない。葉には多くの明点があるが、黒点はない。茎や枝の先に径約5cmのやや大きい黄色の花をつける。花弁は巴状にゆがんだ形をしている。花柱の先は5裂して反り返る。

国内分布

北海道～九州。

県内分布

外浦区、内浦区、中能登区、口能登区、南加賀区、加賀中央区。

生態など

高さ50～130cmの中形から大形の多年草である。開花期は7～8月。花は1日でしぼむ。果実は蒴果で卵形、上向きにつき、細かい種子を多数入れる。種子には網目の隆起がある。

生育環境

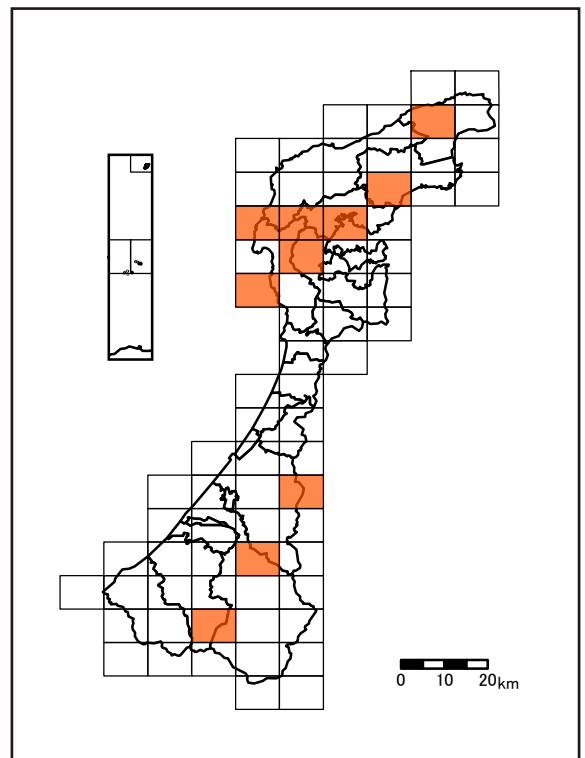
日当たりのよいやや湿った草地に生える。

危険要因

土地造成、道路工事、園芸採取、自然遷移。



本多郁夫・2005年7月30日・白山市



県内の分布